

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(外部事象の考慮)

No.	審査 会合日	審査 プラント	指摘事項	掲載箇所 <備考>
1	H27.7.9	柏崎	評価対象の自然現象スクリーニングにおける考慮の要否について、影響評価の後に対策不要としているのか、そもそも影響評価不要としているのか、明らかにすること。	本日説明事項 本文 p.3, p.8~12, p.16~18
2	H27.7.9	女川/島根 /浜岡	自然現象のスクリーニング基準について、各社の考え方を説明すること(スクリーニング基準は同じとしている一方、サイト毎に異なるとは考えにくい自然現象に対して、検討の結果が異なっているのはなぜか。)	対象外 発電所の地域特性の違いと 考えられるため。
3	H27.7.9	柏崎	ハザードの進展・襲来が遅く、事前にそのリスクを予知・検知し、ハザードを排除できるとして除外している自然現象について、具体的な対処方法を説明すること(例えば高温)。また、昨今の気候変動を踏まえ、過去の気象データからハザード設定することの妥当性を説明すること。	本日説明事項 本文 p.9 添付資料4 添付4-4
4	H27.7.9	柏崎	発生頻度 10^{-4} を、考慮すべき自然現象のハザード設定に使用する妥当性を説明すること。	本日説明事項 添付資料4 添付4-1~4
5	H27.7.9	浜岡	設計基準として想定される自然現象の選定において、超過頻度を用いる考え方を説明すること。	No.4の指摘事項と同様。
6	H27.7.9	柏崎	ダム決壊、土石流の考慮の必要性について説明すること。	本文 p.16 , p.10
7	H27.7.9	島根	土石流を考慮する必要がないとする根拠について詳細に説明すること(ハザード設定の話なので、本件は詳細設計ではなく、基本設計段階で詳細に説明すべき)。	本文 p.10
8	H27.7.9	女川	土石流危険区域に指定されていないとする根拠を説明すること。	本文 p.10
9	H27.7.9	女川/島根 /浜岡	特に地盤に係る自然現象について、第3条(地盤)、第4条(地震)に適合する部分と、第6条に適合する部分を整理すること。	本文 p.10
10	H27.7.9	柏崎	外部事象に対して安全機能が維持されることを確認するフローについて、特定の安全機能を影響評価対象から除外する考え方を説明すること。	本文 p.24
11	H27.7.9	柏崎	屋外の通信連絡設備について、分散配置で機能維持可能としているが、台風など、サイト全体に影響を及ぼす自然現象に対して機能維持可能か、再検討すること。	本文 p.39(表5) , p.44(表6)

No.	審査 会合日	審査 プラント	指摘事項	掲載箇所 <備考>
12	H27.7.9	柏崎	組み合わせを検討する際の、自然現象のスクリーニングの考え方を見直すこと(「影響モード」は、自然現象を組み合わせた後に考慮すべきではないか)。	本文 p.46
13	H27.7.9	女川/島根 /浜岡	組み合わせ後の影響評価結果について、「対応性」の内容を具体的に説明すること。	本文 p.56
14	H27.7.9	柏崎	「風(台風)」のハザード設定の妥当性について説明すること(原子力施設の場合、建屋等についても消防法と建築基準法等で厳しい基準の方を採るべきではないか)。	添付資料5 添付5-2~3
15	H27.7.9	柏崎	設定された自然現象ハザードと、安全機能に対する影響の関係を説明すること(特に低温)。	添付資料6 添付6-1
16	H27.7.9	柏崎	落雷頻度と雷撃電流について、柏崎刈羽原子力発電所での実績値を採用せず、福井県内のデータを採用することの妥当性を説明すること。また、落雷頻度と落雷による施設への影響の関係について説明すること。なお、冬季雷だけでなく、夏季雷も考慮して説明すること。	添付資料8 添付8-18, 22
17	H27.7.9	柏崎	落雷について、建屋のサージ電流値に避雷鉄塔の値を採用する妥当性を説明すること。	添付資料8 添付8-19
18	H27.7.9	浜岡	落雷評価について、3号機のデータを4号機に適用可能である根拠を説明すること(サージ電流と接地抵抗からオームの法則で導かれる電圧と、誘導電圧は異なるのではないか)。	対象外 接地抵抗を用いた換算を行っていないため。
19	H27.7.9	柏崎	有毒ガスについて、毒物劇物の種類によっては、人体への悪影響が弱くても、距離が近い場合に考慮不要とできるか、説明すること。	添付資料9 添付9-6
20	H27.7.9	柏崎	屋外設置の窒素ガス漏えい、拡散評価において、風の影響を考慮しても危険距離が評価対象建屋の離隔距離より十分小さいことを説明すること。	添付資料9 添付9-15
21	H27.7.9	浜岡	自然現象の組み合わせ(地震荷重と風荷重の組み合わせなど)について、頻度、施設・設備毎の仕様、構造、配置等を踏まえた評価結果を示すこと。	本文 p.59~61
22	H27.7.9	柏崎	主荷重と従荷重の組み合わせについて、従荷重が保守的な設定であることを説明すること。	添付資料11 添付11-4
23	H27.7.9	女川/島根 /浜岡	津波と地震の荷重組み合わせ時における余震荷重設定の考え方について説明すること。	防潮堤について、余震を適切に考慮した設計とする(内容については耐津波設計の審査にて説明予定)。